

学力向上に向けた「伴走型学校支援」の取組について

県南教育事務所では、令和6年度より「確かな学力育成加速化事業(学力育成調査・研究事業／学力育成推進事業)」の一環として、各学校の実態や課題に応じた伴走型の学校支援を進めています。

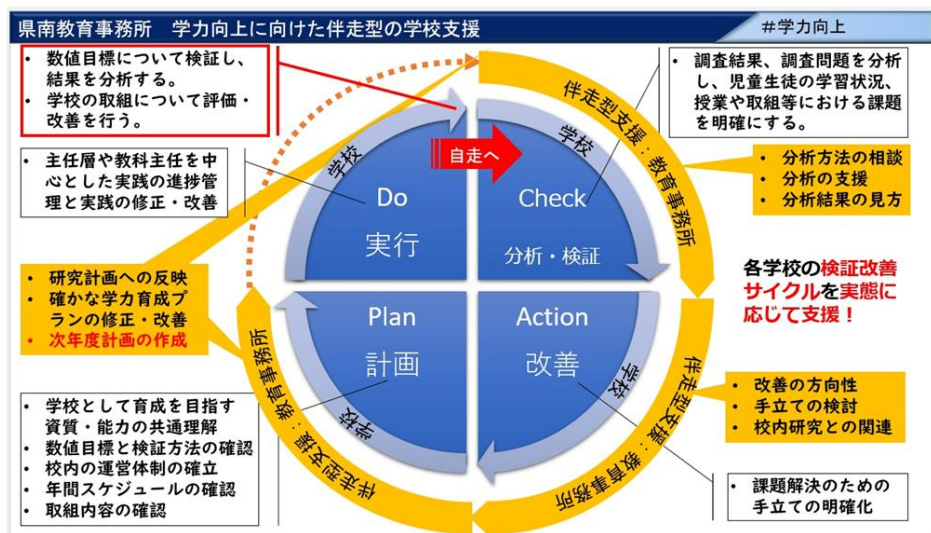
本事業は、全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、学校・市町村教育委員会・教育事務所が連携しながら、授業改善やカリキュラム・マネジメントの充実を図ることを目的としています。（4・7月に参加希望アンケートを実施）

伴走型学校支援とは（県南教育事務所の取組）

単発の助言や研修ではなく、一定期間、継続的に学校に関わりながら、取組の方向性や改善のプロセスを共に考える支援です。

【主な支援内容】

- 諸調査結果の積極的活用による検証改善サイクルの構築支援
- 校内研究の活性化支援
- 「確かな学力育成プラン」の作成・改善支援
- 全職員を対象とした学力向上研修会の実施等



継続的な伴走支援を通して見えてきた学校の変容

(2年間・計7回の訪問を行ったA小学校の例)

本小学校では、当初、「楽しい授業」を合言葉に意欲的な取組が進められていましたが、一方で、育成を目指す力や目標像が多岐にわたり、取組の焦点が定まりにくい状況も見られました。

校長のリーダーシップの下、主任層が効果的に機能・連携しながら全職員で継続的に検証改善に取り組んでいく中で、

⇒ 学力を知識や技能だけでなく、「資質・能力」として捉える視点

⇒ 育成を目指す資質・能力を学校全体で「共有・具体化・焦点化」する取組

⇒「教師がどう教えるか」から「子どもがどのように学ぶか」へと子どもを主語にした教育課程および授業改善

を見出し、学校の考え方が整理・深化していきました。

その結果、「楽しい授業」から「子どもが育つ学校」へスローガンが進化し、児童アンケートや学習状況にも、思考力・表現力の向上のほか、学びの楽しさや主体性の高まりが見られるようになっていきます。

本事業は、「まずは相談してみたい」という段階からでも活用できます。ご関心のある学校におかれましては、ぜひ一度、
県南教育事務所までご相談ください。(学力向上担当 TEL0191-34-4662)